

2023 年度 第 3 回 鋼構造運営委員会 議事録 (案)

1. 日時 2023 年 12 月 8 日 (金) 13:30~17:00
2. 場所 304 会議室+オンライン開催 (Zoom)
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 岡崎太一郎, 聲高裕治, 石井大吾, 石田交広, 石原直,
(敬称略) 井戸田秀樹, 宇佐美徹, 越智健之, 小野潤一郎, 金尾伊織, 吉敷祥一, 城戸將江,
木村祥裕, 桑原進, 佐藤篤司, 澤泉紳一, 澤本佳和, 鈴木淳一, 竹内徹,
田中剛, 長谷川隆, 原田幸博, 見波進, 安田聡, 山田哲, 山田丈富, 和田昌敏,
村上行夫 (記録)
下線: 欠席者
4. 資料 (ストレージサーバ)
 - 03-01 議事予定 (五十嵐主査)
 - 03-02 2023 年度第 2 回鋼構造運営委員会議事録案 (村上幹事)
 - 03-03 構造本委員会資料 (五十嵐主査)
 - 03-03-01 2023 年度廃止申請・2024 年度設置申請・2024 年度活動計画一覧 (五十嵐主査)
 - 03-04 座屈小委員会資料 (金尾委員)
 - 03-05 接合小委員会資料 (桑原委員)
 - 03-06 素材小委員会資料 (見波委員)
 - 03-07 次世代設計規準検討小委員会資料 (石原委員)
 - 03-08 各種合成構造指針改定小委員会資料 (吉敷委員)
 - 03-09 環境小委員会資料 (和田委員)
 - 03-10 塑性設計小委員会資料 (佐藤委員)
 - 03-11 軽鋼構造設計施工指針改訂小委員会資料 (竹内委員)
 - 03-12 耐火設計小委員会資料 (鈴木委員)
 - 03-13 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会資料 (越智委員)
 - 03-14 鋼構造限界状態設計指針改定小委員会資料 (井戸田委員)
 - 03-15 災害委員会等関連委員会資料 (欠番)
 - 03-16 学会図書の質疑に対する回答状況一覧 (聲高幹事)
 - 03-17 今年度 (2023 年度) 大会学術講演会若手優秀発表 (岡崎幹事)
 - 03-18 今年度 (2023 年度) 大会 PD 資料について (五十嵐主査)
 - 03-19 来年度 (2024 年度) 大会 PD について (五十嵐主査)
 - 03-20 重点審議 素材小委員会 (見波委員)
 - 03-20-01 重点審議履歴 (五十嵐主査)
5. 議事内容
 - (1) 前回議事録の確認 (資料 03-02 村上幹事)
 - ・ 2023 年度第 2 回の議事録案を確認した。

- ・ デジタルコンテンツの配信に関連する情報として、構造諸規準のデジタル閲覧のニーズが高いため、来年度からクレジット決済で会員向けに閲覧権を与える（ダウンロードは出来ない）サービスを始める準備を行っている。まずは試行で始める。
- ・ 2 ページ (4) 重点審議の 2 つ目の質疑：「一環」を「一貫」へ修正。
- ・ その他については承認された。

(2) 構造本委員会の動き（資料 03-03 五十嵐主査）

- ・ 12/1 に本委員会が開催された。
- ・ 資料 03-03 に基づき、構造本委員会からの情報に関して報告があった。
- ・ 大会 PD 資料の公開に関して、過去の PD 資料に関しても公開が可能かどうか、刊行委員会で提案してみる。（岡崎幹事）

(3) 小委員会・WG等の報告

- ・ 資料 03-04～03-15 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から活動報告があった。

座屈小委員会（資料 03-04 金尾委員）

- ・ 10/13 に小委員会を開催。
- ・ 分冊化を含め指針改定方針について討議。「座屈に関する諸問題」の英文化については 2025 年度刊行（デジタル書籍）を目標に検討中。
→教科書的な刊行物の位置付け（内容含め）および名称に関してはよく議論して欲しい。

接合小委員会（資料 03-05 桑原委員）

- ・ 12/2 に小委員会を開催。
- ・ 溶接接合設計施工ガイドブック改訂内容に関して引続き討議。小委員会への査読依頼は 6 月頃を予定。運営委員会へは 9 月以降に査読を依頼する予定。
- ・ デジタルコンテンツ（YouTube）の使い勝手等を WG メンバーで確認中。動画の著作権に関しては事務局と協議を始める予定。

素材小委員会（資料 03-06 見波委員）

- ・ 12/5 に小委員会を開催。
- ・ （活動内容に関しては重点審議と合わせての報告。）

次世代設計規準検討小委員会（資料 03-07 山田委員（代理：石原委員））

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 9/25 に時刻歴耐震設計検討 WG を開催。引続き意見交換を実施中。
- ・ 来年度から鋼構造時刻歴耐震設計小委員会として活動を開始予定。（運営委員会はメール審議済み）

各種合成構造設計指針改定小委員会（資料 03-08 吉敷委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。（次回は 12/12(火) 14:00 を予定）
- ・ 講習会は無事終了。
- ・ 講習会でかなり多くの質疑を寄せられ、回答を整えるのに多少時間がかかる見込み。
- ・ 指針改定が完了したので、各種アンカーボルト設計 WG は廃止する。次期改定に向けた体制などは、小委員会の設置期間（2026 年 3 月まで）終了後に協議する予定。

環境小委員会（資料 03-09 和田委員）

- ・ 8/29 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定方針に関して引続き討議中。
→PD またはシンポジウム開催も視野に検討して欲しい。

塑性設計小委員会（資料 3-10 佐藤委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 9/20 に小委員会を開催。（大会 PD 後。PD は盛況であった。）
- ・ 指針改定内容の 5 章（梁）と 8 章（ブレース）を重点審議。

軽鋼構造設計施工指針改定小委員会（資料 3-11 竹内委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 指針はすでに脱稿済みで、2/29（東京）と 3/11（大阪）に講習会を開催する。講習会の会告案の紹介があった。

耐火設計小委員会（資料 3-12 鈴木委員）

- ・ 9/4 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定内容に関して引続き討議。
- ・ 来年度に「耐火設計例検討 WG」を新設予定。

鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会（資料 03-13 越智委員）

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 改定原稿に関して、運営委員会からの査読結果に対する回答を検討中。
- ・ 査読結果の審議については次回運営委員会で行うが、構造本委員会の査読開始まで日数がないため、運営委員会査読者からの査読終了の報告を得た上で、構造本委員会査読へ進むことの可否をまずはメール審議の上決定する。
- ・ 構造本委員会の査読者への原稿の引渡し時期や査読期間については事務局に確認。

鋼構造限界状態設計指針改定小委員会（資料 3-14 井戸田委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 9/21 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定方針に関して引続き討議。
- ・ 来年度 PD は荷重運営委員会との共同ではなく鋼構造単独で計画することとなった。

災害委員会等（資料なし 井戸田委員）

- ・ 特になし。

(4) 学会図書質疑回答の報告（資料 03-16 聲高幹事）

- ・ 質疑回答状況の報告があった。
- ・ 前回運営委員会以降に 5 件（質問番号 23-04～08）の質疑があり、既に回答済み。

(5) 今年度大会学術講演会若手優秀発表について（資料 03-17 岡崎幹事）

- ・ 選考結果の概要について説明があった。
- ・ 今年度の受賞者は 13 名で、HP へは公開済み（10/11）。事務局から受賞者への賞状発送は 1 月の予定。
- ・ 若手優秀発表賞に関しては、学会事務局に「A 審査対象件数」「B 受賞者数」「 $B \div A$ 受賞率」を報告して、学術推進委員会で追認し、受賞率が 10% 程度であることを確認される手筈とな

っている。審査対象件数の定義は、各委員会に委ねられているが、鋼構造運営委員会では、辞退者や失格者（連番発表等による）を含めて当日発表した資格者全員とすることで、学会事務局にも了解いただいた。今後も、これを踏襲することとしたい。

(6) 今年度大会 PD 資料について（資料 03-18 五十嵐主査）

- ・ PD 資料（塑性）については、1 年後に無償公開することとなった。

(7) 来年度大会 PD について（資料 3-19 五十嵐主査）

- ・ 来年度 PD の提案書（鋼構造限界状態設計指針改定小委員会）に関して紹介があった。
- ・ 来年度の PD も初日にオンライン開催の可能性が高いが、対面開催となった場合は第一希望が 4 日目の午前、第二希望が 3 日目の午前とする。

(8) 重点審議：素材小委員会（資料 03-20 見波委員）

- ・ 資料 03-20 に基づき、「データベース公開」に関する検討状況および「刊行物」に関する執筆状況の紹介があった。

【データベース公開】

- すべての電炉メーカーにデータ提供依頼を行っているわけではないようだが、依頼した電炉メーカーの選択基準は？
 - H 形鋼（小断面を除く）を製造しているメーカーを主に選定している。
- 全構協にデータ提供依頼を行う理由は？ メーカー提供のデータとダブルカウントにならないか？
 - ダブルカウントの可能性はあるので、データの扱いには注意する。
- 電炉材のトランプエレメントの情報等はどれくらい集まるか、集められる情報が十分かどうか等、収集項目は十分検討した方がよい。
- 現状でどの程度のデータが集まっているのか？
 - 電炉メーカーの 1 社からはデータを頂いている。その他はこれから提供頂く予定。データはまず大会梗概集で公表し、その後 HP での公開を考えている。

【刊行物】

- 塑性加工や塑性履歴を受けた場合などを想定した「時効」についてはキーワードとして入っていないようだが？
 - 可能であれば検討したいと考えている。
- 2 章は 10 年前の統計データを掲載予定のようだが、最新のものは入れられないか？
 - 脱稿までまだ時間があるので、検討してみる。
- 小委員会の人数を増やして、作業分担などを考えてみては？
 - 若手登用も含めて検討してみる。

(9) 次回重点審議について（資料 03-20-01 五十嵐主査）

- ・ 次回は限界状態設計指針小委員会へ打診してみる。（NG の場合は環境小委員会が次候補）
 - 後日、環境小委員会に決定

(10) 構造本委員会からの依頼事項について（資料なし 五十嵐主査）

- ・ 今年度活動成果に関して資料依頼があると思うので、各小委員会で準備をお願いする。
- ・ 来年度予算に関して、一割減と見込まれているが、小委員会への配分案は基本的に今年度と同様を考えている。運営委員会への正式な予算額が配分されたら、メール審議を行う予定。
- ・ 建築学会文化賞への推薦が少ないため、候補者（学会会員外で建築に貢献した者）がいれば五十嵐主査へ連絡のこと。

6. その他

次回重点審議 環境小委員会

第4回鋼構造運営委員会 2024年3月12日（火） 13:30～17:00

以上